

Airbnbと日本版DMOが初の提携 山陰インバウンド機構と農山漁村滞在の推進を世界に向けて発信へ

一般社団法人 山陰インバウンド機構（代表理事：福井善朗、以下「山陰インバウンド機構」）とAirbnb Japan株式会社（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ、以下「Airbnb」）は、山陰地方を訪れる日本国内外からの旅行者数を増大させる観光促進施策を推進することを目的とした覚書を締結しました。日本版DMOがAirbnbと連携するのは初めてです。

山陰インバウンド機構は、“山陰”が世界に通用する観光地となるよう、官民が連携し、観光地経営の視点に立った観光地づくりの舵取り役としての役割を果たす山陰DMOとして積極的な観光促進を実施しています。グローバルプラットフォームであるAirbnbは、累計2億人のゲストが利用しています。また、約500万人以上が日本国内でAirbnbに登録されているお部屋に宿泊をしています。

今回の提携を通じて、山陰インバウンド機構とAirbnbは、より多くの観光客を山陰地方に誘引するため、農山漁村滞在を受け入れるホストの開拓、教育、支援を実施して参ります。



山陰インバウンド機構代表理事の福井善朗は、Airbnbと協働する意義を以下のように語ります。「今年3月、山陰の美しい風景や魅力的な建物を紹介したYoutube動画を公開、570万再生を記録し、山陰の魅力は世界にアピールできることを確信しました。しかし、まだまだ“山陰”の観光の魅力は、世界に行き届いていません。特に農山漁村の魅力は、そこに滞在していただいて初めて感じていただけるものです。Airbnbとの協働により山陰の魅力をより多くの冒険好きな旅行者に世界に発信していきたいと考えております」

Airbnb Japan株式会社代表取締役の田邊泰之は、「旅先で体験する土地の暮らしや地域の人々との交流は、土地の魅力を深く知ることができ旅行者の記憶に残ります。山陰には美しい農山漁村の風景があり、そこに住む人たちが作り上げてきた生活が根付いています。山陰インバウンド機構との協働により、まだまだ知られていない農山漁村の魅力を世界に発信できればと考えています」と今後の展望を語ります。



今後両者は、Airbnbを含む新たなインターネット・プラットフォームへの適応を促進するための基本的なトレーニング、宿泊場所提供者が滞在旅行者を受け入れるための地域での協力体制を両者で協議・構築、各当事者のマーケティング・キャンペーンなどの具体的な取り組みを実施して参ります。

<Airbnbに掲載されるリスティングの事例>

◎農村滞在型

築150年の古民家ときわすれ清水屋。米子市内から車で40分の里山にある古民家です。部屋は縁側に面している8畳が2間、6畳が1間、囲炉裏のある板間をお使いいただけます。

<https://www.airbnb.jp/rooms/21153864>

◎漁村滞在型

福間館は創業年の歴史を持ちます。本館の離れ「橋津屋」は築200年の古民家をリノベーションして快適に御滞在頂けます。専用の遊覧船、釣り、歴史散策、国立公園内ウォーキングをお楽しみいただけます。

<https://www.airbnb.jp/rooms/21326772>

<Airbnbについて>

2008年創業のAirbnbは、暮らすような旅で世界をつなぐ企業です。コミュニティのマーケットプレイスを通して、アパート、ヴィラ、お城、ツリーハウスにいたるまで、世界191か国65,000以上の都市にまたがる登録数百万件のシェアホームから自分ひとりのお家を予約できます。ほかにも従来なかなか触れる機会がなかった世界各地のローカルコミュニティやアクティビティにアクセスできる「体験」、現地の人が自信をもってすすめる穴場情報「スポット」も提供中です。人が原動力のAirbnbは、簡単に空き部屋、好きなこと、愛する地元を世界中の人にシェアできるプラットフォームです。

本件に関する報道お問い合わせ先
Airbnb広報 河野 E-Mail:press-JP@airbnb.com
Airbnb PR事務局（担当：平位・橋本・出元）
TEL: 03-4580-9105 E-Mail:airbnb-pr@ml.prap.co.jp